

BYAC

ワクワクの種



ハイダメージ毛
(吸水毛)

BYAC 塗布後、
トリートメントした髪

成功のカギは**疎水**へ近づけること。

ダメージレベル 3.5 以上の
ハイダメージ毛の下地づくり！

濡らすと伸びてしまうようなハイダメージ毛を補修するために PPT、CMC をいくら導入しようとしても S-S 結合の不足により、髪がすぐに膨潤するので補修成分がなかなか定着しません。BYAC はそんな髪に S-S 結合をつくり、髪内部を補修することで、次に行う施術のためのベース作りをします！

ワクワクの種 **BYAC**

pH	5.3
形状	クリーム
補修成分	アミノシステイン 加水分解ケラチン (羊毛) アミノエチルジスルフィドケラチン (羽毛) (AEDS ケラチン)
容量	400g
価格	2,920 円 (税抜き)

NEW



使い方は動画はコチラ↓

コラム AEDS ケラチン (羽毛)
ふわっと軽くて丈夫な羽毛はダメージ補修に最適です！
ダメージした髪をやわらかい髪質へ導きます。



BYAC は様々な場面で使えます！

STRAIGHT

毛先の補修に。

ふわっと柔らかい髪に。

PERM

ダメージ補修として。

崩れにくいパーマに。

COLOR

毛先の補修に。

均等に染める為に。

TREATMENT

まとまりのある毛先に。

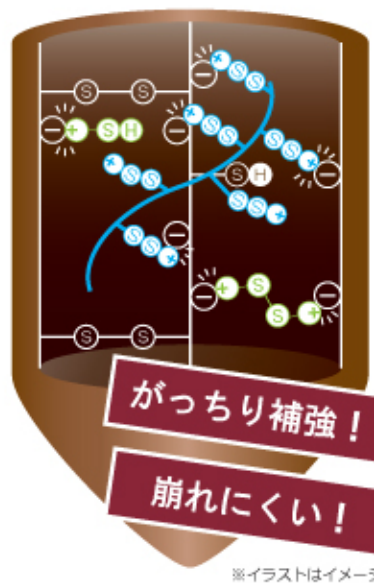
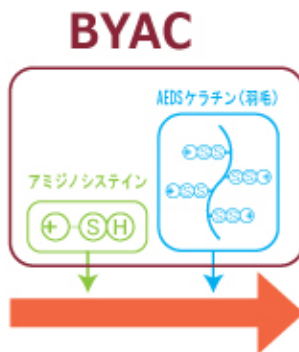
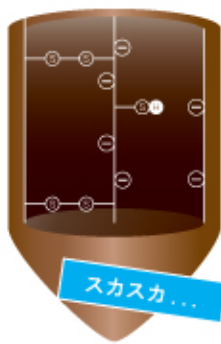
ダメージ補修として。

BYACでハイダメージ毛の下地をつくる!!

01

S-S 結合で補強して疎水へと導く

水を吸うと伸びやすくなり、芯がないようなハイダメージ毛は、マイナスの電荷が多くなっているため電気的な反発が起こり、簡単に膨潤してしまいます。そんな髪に **BYAC** を使うと、アミノシステインのプラスの電荷が、傷んだ髪のマイナスの電荷に結合します。アミノシステインのもつ SH 基が、空気酸化により S-S 結合を作ることで、髪の内層を補強します。さらに、カチオンの電荷をもつ高分子セラチンである AEDS ケラチン (羽毛) が追加されることで、従来比較で強度の持ちが向上しました。

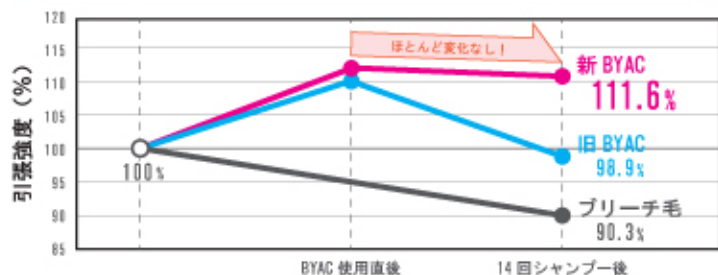


※イラストはイメージです。

02

強度の持ちと色の均一化

強度の持ちの検証



トリートメントの持続力アップに。

ブリーチをした髪にトリートメントをしても髪はパサつき、ダメージは進行してしまいます。そこで、PPT などの前処理の前に BYAC を用いることで、トリートメントのノリがよくなり強度が回復します。また、従来は 14 回洗浄後に強度が少しずつ落ちていったのですが、新 BYAC は AEDS ケラチン (羽毛) の効果もあり 14 回洗浄後も強度を維持し、トリートメントの持続力アップにつながります。

色の均一化の検証



BYAC で色もまとまる。

ブリーチした髪に BYAC を使わずにカラーすると、ダメージによる親水部と疎水部の混在により、カラー剤の浸透性が変わり、色がムラになります。3 種混合原液などの PPT だけでは抑えられなかった色ムラが、BYAC を使うことで抑えられました。つまり、3 種混合原液などの PPT を使う前に BYAC 処理をすることで疎水に近づけることができているということになります。

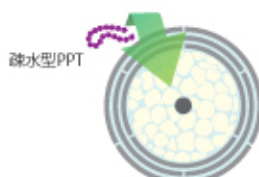
03

ハイダメージ毛を補修するプロセス

BYAC 塗布

01

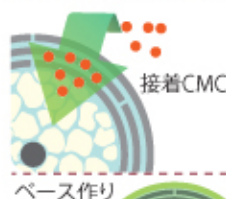
BYAC 塗布後...
3 分程度放置 or もみ込み 3 分



02

疎水型 PPT で水を吸いにくい状態へ回復させて、髪内部へのダメージを補修します。

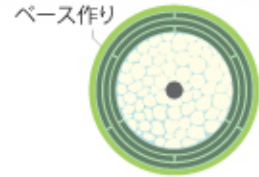
【使用する薬剤】
3 種混合原液 1 : ワクワク neo ミスト 4



03

接着 CMC を導入して、キューティクルやコルテックスを接着します。

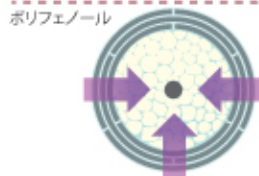
【使用する薬剤】 特トリ (原液)



04

接着 PPT の定着を補強し、かつ擬似キューティクルのベースを作ります。

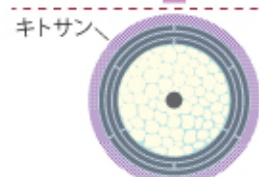
【使用する薬剤】 ヘマヘマ 10 倍



05

ポリフェノールで髪を引き締め、余分な水分を外に押し出し、取れさせることで疎水に戻します。

【使用する薬剤】 ポリK 10 倍



06

キトサンで髪の内層を覆い、擬似キューティクルを作り、水分の調節機能を回復させます。

【使用する薬剤】 キトキト 10 倍

S-S 結合が増強され、疎水毛に近づける。